

## リレーボックス・スイッチ製作研修会

テーマ：センター研修員との教材・教具の共同開発

目的：児童生徒が主体的に学習に取り組めるように、児童生徒の障害の状態や特性等に応じた教材・教具を工夫し、学習環境を整える。

今年度も秋田県総合教育センターの研修員と教材教具の共同開発を行っています。6月から製作する教材・教具のアンケートの実施、授業参観による実態把握など話し合いを重ねてきました。今回は秋田県総合教育センターの教育メディアグループの研修員の先生に講師をお願いし、リレーボックスとタッチスイッチ作りを行いました。

日時：平成21年10月2日（金）10：00～12：00

場所：総合教育センター1F 技術実習室

内容：「リレーボックスとタッチスイッチ製作」電化製品を外部スイッチでオンオフする道具です。

- ・ACケーブルの製作
- ・リレー・電池ボックス・ジャック・ACケーブルの結線
- ・プラスチック製密閉容器への穴開け加工
- ・取り付け

リレーボックス



リレーボックスに棒スイッチをつけ  
ミキサーを操作しています



リレーボックスとタッチスイッチを製作しました。久しぶりに持ったハンダごてに四苦八苦し、小さな基盤や配線を確認しながら作業を進めていきました。最後に作ったリレーボックスとスイッチを使い、ラジオのスイッチが入った時には拍手で喜びを分かち合いました。子どもたちの「やってみたい」「楽しいな」「自分でできた」・・・主体的な活動を引き出し、達成感を味わうことができるように活用していきたいと思えます。

